

## 第42回 宇都宮短期大学祭メインステージによせて



学長 須賀 英之

本日は「青島広志氏おしゃべりコンサート」によるこそお越しく下さいました。青島先生のご活躍は皆様ご存知のとおりですが、本コンサートにつきましても発売と同時にチケットが完売し、あらためて先生の人気の高さを実感致しました。

青島先生は作曲活動や大学での教育研究はもちろんのこと「春風亭小朝 & 青島広志の爆笑コンサート(10/29)」や「青島広志with飯森範親 & 東京交響楽団フレッシュ名曲コンサート(11/24)」等のご公演や「世界一受けたい授業」テレビ出演など エネルギッシュに幅広い活動を展開されておられます。

皆様には充実した楽しいステージをご観賞いただくと同時に、先生の著書やDVDにサインをしてくださるとのことで、どうぞロビーにて青島先生と直接お話しをしていただければ幸いです。

おわりに「宇短大祭なら喜んで」と快くお引き受け下さった 青島広志先生、小野 勉先生、この公演実現にご尽力頂きました直井研二先生、さらにご来場いただきました皆様方へ厚く御礼申し上げ、又 開催準備担当の学生達にエールを送ります。

### プロフィール



青島 広志

1955年生まれ。東京芸術大学大学院首席修了。修了作品のオペラ「黄金の国」(遠藤周作・原作)が同大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術祭主催公演となる。作曲家としては「火の鳥」(手塚治虫・原作)「黒蜥蜴」(三島由紀夫・原作)のほか7作のオペラ「マザー・グースの歌」などの合唱曲、「イソップ動物記」「モチモチの木」などの管弦楽曲に至るまで、広い範囲の作品を残している。

指揮者、ピアニストとしても活躍し、近年ではコンサートやイベントの企画から出演までを任されることが多い。NHK「ゆかいなコンサート」初代総監督を8年つとめ、NHKラジオ「みんなのコラス」「高校音楽講座」やテレビ「題名のない音楽会」「たけしの誰でもピカソ」「世界一受けたい授業」などに出演。東京芸術大学・都留文科大学・都立芸術高校各講師、東京室内歌劇場運営委員、日本現代音楽協会、作曲協議会会員。



小野 勉

歌を始めたきっかけは都立八潮高等学校合唱団から、平松剛一氏のもと研鑽を積み、現在平松混声合唱団に所属し団長を務める。その傍ら「黄金の国」「天国と地獄」「浅茅ヶ宿」「脳死を超えて」など、東京室内歌劇場、東京オペラプロデュースの公演にソリストとして参加。

また、青島広志氏との協演により、名古屋フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィル、大阪シンフォニカー、日生劇場、他のコンサート、音楽祭、題名のない音楽会21、NHKラジオに出演し好評を博す。2001年第12回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位入賞。2002年3月東京オペラシティ・リサイタルホールにてリサイタルを開催する。

### プログラム



1. W.A.モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」(1786)より 序曲  
[ 1756-1791 ]
  2. G.F.ヘンデル 歌劇「セルセ」(1738)より オンブラ・マイ・フ(慕わしき木陰よ)  
[ 1685-1759 ]
  3. W.A.モーツァルト 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」(1787)より わが恋人を慰めて  
[ 1756-1791 ]
  4. G.ロッシーニ 歌劇「セヴィリヤの理髪師」(1816)より 暁の光がさして  
[ 1792-1868 ]
  5. G.ドニゼッティ 歌劇「連隊の娘」(1840)より 友よ何と楽しい日  
[ 1797-1848 ]
- 休 憩
6. V.ベッリーニ 歌劇「清教徒」(1835)より 愛しい乙女よ あなたに愛を  
[ 1801-1835 ]
  7. P.マスカーニ 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」(1890)より 間奏曲  
[ 1863-1945 ]
  8. G.ヴェルディ 歌劇「リゴレット」(1851)より 女心の歌  
[ 1813-1901 ]
  9. G.プッチーニ 歌劇「トゥーランドット」(1926)より 誰も寝てはならぬ  
[ 1858-1924 ]
  10. F.レハール オペレッタ「メリー・ウイドウ」(1905)より 唇は黙っていても  
[ 1870-1948 ]
  11. S. ロンバーク オペレッタ「学生王子」(1924)より セレナーデ  
[ 1887-1951 ]